



第 1254 回例会報告

【1 月はロータリー理解推進月間】

平成 24 年 1 月 12 日(木) 晴

会長挨拶

会長 三村昌暉

今井竜五岡谷市長新春卓話例会

本日は、岡谷市長今井竜五さんをお招きしての、新春卓話例会であります。後ほど大いに語っていただきたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

昨日、諏訪中学校で開催された諏訪市内の小中学校の校長会に私と溝口幸二国際奉仕委員長で出席し、鍵盤ハーモニカ収集に関する協力依頼をしてまいりました。私たちの退席後の協議で、全校で協力することに決したとのメールが届きました。渡邊会員と諏訪市議会議員の森山会員のサポートがあったことをご報告いたします。有り難う御座いました。

さて今月は、ロータリー理解推進月間であります。RI 理事会は毎年 1 月を上記の月間に指定し、会員にロータリーについての知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアンではない人達にもロータリーのことをよく知ってもらう為のプログラムを実施する月間とされ、1988 年 1 月から実施されております。

四つのテストについて述べたいと思ひます。原文は当然英文で、日本文の翻訳が原文の意味を正しく伝えているかどうかは議論のあるところでありす。

職業人としてのロータリアンの心構えを具体的に記述したものが「ロータリー倫理訓」だとすれば、それをロータリアンのみならず一般の職業人にも理解できるように、簡素かつ的確にまとめたものが「四つのテスト」であります。原文を正確に翻訳すると以下の様になると考えられます。

★真実かどうか

嘘偽りが無いかどうかという意味ではありますが、真実とは、人間の心を通じたアナログ的判定であるのに対し、事実とは二者択一を迫るデジタル的判定です。ここでは「事実」という言葉を用いるべきでありましよう。

★みんなに公平か

ここでは、「公平」でなく「公正」と表現すべきでしょう。すべての取引先に対して公正かどうかという意味になります。

★好意と友情を深めるか

単なる好意と善意を表す言葉ではなく、その商取引が会社の信用を高めると同時に、より良い人間関係を築き上げ、取引先を増やすかどうかを問うものと考えられます。

★みんなのためになるかどうか

儲けは、売り手だけが儲かったり、買い手だけが得をしたのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうか問題なのです。

ハーバード・テラーは倒産寸前の会社を引き受け、正しい営業活動をするために「四つのテスト」を示し、5 年後借金を完済し再建に成功しました。1954 年 RI 会長に就任し「四つのテスト」の版權はロータリーに寄付され現在に至っております。

■ニコニコ BOX

23名	26,000円
累計	712,000円
目標額	130万円
達成率	54.7%

■今週のこぼれ

先週知り合いにピアニカの寄贈のことを話したところ、昨日 12 台持ってきてくれました。

皆さんもぜひ、友人知人にお声かけをお願いいたします。

溝口幸二

■出席報告

会員数	33名
出席対象	33名
出席者数	26名
出席率	78.8%
前回修正	84.8%

■次回のプログラム

1月26日

ロータリー情報例会

諏訪大社ロータリー

IMのPR訪問



2011-2012 年度 国際ロータリーテーマ
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
Reach within to Embrace Humanity

◇幹事報告◇

【報告事項】

①本日は、今井竜五岡谷市長様をお招きして「新春卓話」を頂きます。

よろしくお願ひ申し上げます。

②先の「東日本大震災復興応援プロジェクト」の一環としてご協力頂いた「明日という日が」のCDが送付されてきました。

【連絡事項】

①下期の年会費(105,000円)の納入をお願いします。また、上期分未納入の会員も併せて1月末を目標にお願いします。

【受領文書】

ウーキー 諏訪 RC

第 1254 回例会

今井竜五岡谷市長新春卓話

クラブ奉仕委員会

本日は、クラブ奉仕委員会による岡谷市長新春卓話でした。

会長のお礼の言葉「難題を抱える市政について40分間にわたり原稿なしでいただいた卓話は、迫力あふれるもので感動しました」の通りでした。今後の益々のご活躍をご期待申し上げます。

本日本日いただいた卓話の項目のみを列挙させていただきます

●東日本大震災と今後の支援について

これからは支援の本番。職員の長期派遣も考えている

●安全の街づくりの教訓としたい岡谷市豪雨災害

尊い8名の人名が失われた岡谷市豪雨災害を安全な街づくりのための教訓としたい。7月19日を岡谷防災の日とし長く戒めたいと考えています。

●長野県縦断駅伝

こんな時だから長野県縦断駅伝で「オール諏訪」の優勝は、市役所関係者も関係していて、大変うれしかった。

●経済の活性化をなんとしても支援したい

経済の活性化を心から願ひ支援したい。経済が打撃を受けると、市税も打撃を受け市が疲弊する

●諏訪全体を考える戦略会議

地域性を生かしながら諏訪地方の行政が一つになり共通諸問題の整合性をとる運動をとるとともに活動する組織として機能し始めた。

単なる話し合いだけでなく、菱の駆除の問題などを考えたり、県の支援金で行われていた諏訪圏メッセの予算化など資金面でも考えています

●国道バイパスの問題

バイパスは、豪雨災害時に諏訪が陸の孤島となった経験からも必要。

岡谷部分は後200mほどで終了。下諏訪も頑張ってくれているので進展させたい。

●新消防庁舎の建設

東海地震は10年以内に88%の可能性で起きる。安全な街づくりに消防の充実はかせないの今井新道に4500㎡の土地を確保している

諏訪広域消防の進展が不調のため、現状は基本的に各地域消防の連携だが、これを機会に本格的な広域化を図りたいと考えています。

●ごみ処理場の問題

湖周行政事務組合ですすめている。やまびこ公園の上方に60トン炉×2 120トン炉建設で進める予定。

重要なのは27年ゴミの30%減量を達成すること。岡谷市はゴミの有料化の結果、早くも目標を達成できたが若干リバウンド状況が起きているのも事実

ストーカ炉(従来通り)が合理的。溶融炉、炭化方式どちらも優良でないとおもわれる

●岡谷新病院の建設の基本理念

「岡谷市民病院は「思いやりを」基本理念とし、心温まる患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院を目指します。」を基本理念に建設を進めます。(詳しくは別紙を参照してください)

●岡谷全国産業観光フォーラム

次年度実施になります。観光の先輩である下諏訪町、諏訪市の皆様のご協力をお願いいたします

●平成24年度予算編成

安全で安心な生活基盤の充実を最大目標に予算編成に精力的に邁進しています。

